

拠点2 子どもの生活研究所【保育】

1 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

2021年度の嬉泉保育拠点は、法人の理念のもと「子どもの幸せと心の豊かさを育むために『その子らしさ』を尊重し、子どもを中心に据えた保育を考える」ことを目指してきた。職員が子どもとの関わりの中で『その子らしさ』への気づきを得、他職員との対話を通して理解が深められるようにするために、管理者はそれぞれの強みを活かして保育拠点内を横断的に行き来することになっていたが、新型コロナウイルス感染症の罹患者が出る等、その機会は想定より少なくなった。実施した取り組みについては、下記報告の中で述べていく。

法人の経営方針である「明確なコーポレートガバナンスによる持続可能な法人経営」については、児童福祉法等の関係法令を遵守し、保育所保育指針や世田谷区保育の質ガイドラインに基づいた事業運営がなされているか自己評価を行うとしていた。3園共に、毎年行われる世田谷区による「巡回指導」を受け、その中で自園の事業運営の報告を行い、概ね適正な運営が為されていることが確認された。また、2園が世田谷区による「一般指導検査」(10月 鎌田のびやか園、11月 すこやか園)を、3園が「第三者評価」を受審。第三者評価については年度末に素案が提出されたため、これを踏まえて次年度事業内容の見直し等を行っていききたい。

ア 保育観の確認と共有

法人執行本部のもと、今年度も理事長(拠点場長)・園長・副園長・事務主任による保育会議を月1回のペースで開催した。WEBでの開催が多かったが、前年度の会議において互いの保育観や保育ビジョンについての話し合いを行っていたことから、必要最小限の情報伝達や確認のみで3園が安心感を持ちながら同じ方向性で事業運営を行うことができた。

また、保育会議に参加している副園長が主催し、育成担当の要となる主任を交えて行う月1回の会議(副園長・主任会)の中では、場長や担当管理者も参加し、「職員として自分が子どもに関わる時、子どもにどういう人に育ってほしいと考えているか」を意識的に言語化する等、互いの保育観を確かめ合う作業を行った。

年度後半には、これらの保育観を他職員に伝えるための共通言語とするべく、保育理念策定プロジェクトを立ち上げ、保育会議メンバーが中心となり検討を行っている。完成後は、主任を交えて保育理念の共有を行い、他職員への伝達へとつなげていききたい。

イ 保育拠点内の連携強化

運営管理や人材育成、委員会活動等における各園の取り組みについては、保育会議以外にもメールや電話にてやり取りし、情報共有を行った。特に委員会活動に関しては、コロナ禍で対面での会議ができない分、期日を設けて各自が作業し、これを共有するという形式を取った。この形式に慣れてきたことで、委員からの反応が早く返ってくるようになり、昨年度よりも円滑に情報共有ができた。次年度は、既にマニュアル等があり決まった内容を継続的に進めていくもの、必要に応じて情報交換すればよいものについては、委員会ではなく係として再編したい。係として進めていく中で、新たに何かを行う必要がある場合には、再び委員会として組織していききたい。

新人研修については、保育会議メンバーが2ヶ月毎に持ち回りで企画し、保育拠点全体での開催を目指していたが、9月以降新型コロナウイルス感染症の流行により、一同に会しての実施が困難となった。3月に各園にて新人職員の振り返りを行い、書面にて共有した。

今年度、保育拠点内の連携をはかりながら運営管理や人材育成について考えてきたが、単年ではなく中長期的な見通しを持った計画立案の必要性が課題としてあがった。次年度は保育拠点として、中長期計画の策定を行っていききたい。

ウ 他拠点・事業所との連携

法人執行本部の下、他拠点・事業所との情報共有や連絡については、月1回WEB開催される情報連絡会やサイボウズ（情報共有の為にシステムソフトウェア）を活用して行った。

子どもの生活研究所にて開催される看護師会については、年度前半、緊急事態宣言の影響により対面での開催を見合わせ、メール等を通じて新型コロナウイルス感染症マニュアルの見直しを行った。年度後半にはWEB開催も取り入れ、抗原検査の取り扱いルール等の確認作業を行った。これにより、3園の職員が過不足なく同じ情報を共有することができた。

採用関係については、法人採用係と行った保育採用戦略会議の中で、就職フォーラム（世田谷区民間保育園連盟と（株）コドモンが企画）参加の振り返り等を実施。職員の定着やキャリアアップを見据えて、採用すべき職員像の確認がなされた。

また、研究啓発局内の一つの班（好事例収集班）に、保育3園の管理者が参加。今年度の法人支援テーマである「相手の立場に立ってみる」を意識して実践し、気付いたことを職員と振り返ってまとめ、12月に開催した法人内児童施設職員対象の事例発表会の中で報告した。発表の仕方や資料の作成等、改善の余地は多々あるが、若い職員にとっては他職員の関わりが参考になったり、改めて自分の保育を振り返ったりする等、よい機会となった。

エ 感染症予防対策の継続

昨年度、世田谷区内の関係者にて作成された、「新しい日常における保育」を基に、各園の実情に応じた新型コロナウイルス感染症の予防対策を行った。年度前半は、感染症マニュアルの見直しや研修を通して職員の意識改革に努めていたこと、消毒や備品の購入による環境整備に努めていたことから、クラスターにならずに済んだ。しかし、年度後半はオミクロン株の流行により、罹患者の発生や休園措置を避けることが難しかった。引き続き、感染症予防対策を継続すると共に、職員の休暇が重なっても安定した事業運営ができるように人材確保を行っていききたい。

オ 地域支援の継続

保育所としての社会的役割を果たすため、子育て家庭への支援、近隣の老人施設や学校との世代間交流等、コロナ禍において実現可能な形を模索しているが、世代間交流については、先方の意向もあり実現できていない。

一方、高校生ボランティア（職場体験）、保育士を目指す学生実習の受け入れについては、感染症対策を講じた上で受け入れを行った。学生実習の担当教員と相談し、記録の作成や担当教員とのやり取りも実習時間としてカウントし、自宅で作業する等の工夫を行った。また、鎌田のびやか園については、サッカー教室に参加している卒園児を対象に、園庭の利用人数が減る夕方に遊び場として園庭開放を行った。

カ 同僚性の構築

前年度のストレスチェックの結果を受け、今年度は「職員が互いに支え合い、高め合っていけるような協働的な関係」がより構築されるよう、互いの仕事を知る機会や考えを伝え合う機会を設けた。（グループリーダー、サブリーダー、乳児・幼児グループといった単位での話し合い）ワクチン接種やその副反応による職員の休暇が増え、グループを越えた職員連携が必要な状況となったが、この話し合いが下地となり、円滑なやり取りや支え合いにつながった。

キ 第三者評価の受審と内容の見直し

10月より第三者評価の調査が行われた。2月には総評が出る予定が、3月末に素案が提出された。次年度は、この第三者評価の結果を踏まえて、運営管理や保育の質が高められるよう見直しを行っていききたい。

ク 採用活動と職員の定着

採用活動については法人採用係と協力し、採用情報サイト「せたがやHoiku Work」を通じて夏季アルバイトを多く採用。その一部は、10月以降も継続雇用となっており、人材確保につながっている。

職員の定着については、主任以上が職員の話聞くことで、コロナ禍に伴うメンタル不

調や働きにくさを感じていないかどうかを確認した。また、オミクロン株の流行により職員の出勤がままならなくなり、シフト調整が頻繁に入る等、イレギュラーな事業運営を余儀なくされた。最終的に職員の離職は少なかったが、一部の職員に常態的な負荷が掛かる等、健康を損なうリスクが高まる結果となった。次年度も引き続き、職員の定着につながるような取り組みを行うと共に、安定した事業運営が維持できるだけの人材確保や役割分担を行っていききたい。

○各園の実施状況

ア すこやか園

業務全般における意味や意義を考えることを意識し、園全体で声を掛け合いながら取り組んだ。職員全員ではないが、リーダー層の中から日々の保育の業務の中で、意味や意義を考えながら主体的に進めていく職員の姿が現れてきている。子どもとの関わりの面では、本年度の法人の支援テーマ「相手の立場に立ってみる」を受け、支援テーマに沿った日々の保育場面での子どもとの関わりを振り返る「好事例」を職員同士で話し合うことを1年間続けた。その結果、子どもの理解を深めていくことや、『その子らしさ』を考えるヒントや手応えを得た職員が多く見られた。また、次年度は、現在進めている嬉泉の保育理念を職員一人ひとりまで届けることで、職員がこの仕事の良さや手ごたえを感じながら業務に当たれるように工夫していききたい。

イ 宇奈根なごやか園

グループ打合せにおいて、職員が気になっている子どもの姿を共有し、「なぜ気になっているのか」「(子どもの立場に立って考えた時)子どもはどういう気持ちでいるのか」を話し合うようにした。あまり多くの時間は持てなかったが、「保育の中で何を大切にしていこうか」を考える機会になった。また、常勤職員だけでなく、長く勤めている非常勤職員の存在が子どもとの関わりにおいて重要になってくることから、非常勤職員を対象とした内部研修を企画する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で進めることができなかった。次年度は、コロナ禍においても必要な研修(非常勤職員含む)が行えるように、計画的に物事を進めていききたい。

ウ 鎌田のびやか園

子どもや保育者間の相互理解を目的とした「コミュニケーション(交流)」を課題に置き、相互理解を促すための交流の機会を設けるよう進めるが、人材不足による業務効率化のための交流(連携)が主となり、計画に挙げた取り組みを進めることができなかった。しかし、保育者間では、業務効率化のための交流が互いを支え合う意識等を芽生えさせ、人材不足における厳しさは感じつつも保育者間の雰囲気が悪化することなく年度を終えることができた。次年度においては、今年度掲げた計画を再度進められるよう努めていききたい。

2 月間・年間行事等実施状況 (※別紙の通り)

3 職員体制 (※組織図を添付)

4 職員研修

(1) 交流研修

管理者がそれぞれの強みを活かして保育拠点内を横断的に行き来し、職員と対話をする機会を作った。新型コロナウイルス感染症の影響により、想定よりも機会の提供は少なかったが、以下のような取り組みを行った。

ア 副園長、主任会

先にも述べているが、月1回開催する会議の中で、「子どもの保育で何を大切にするか」という価値観の確認と共有を行った。場長や担当管理者も参加する中で、自分なりの言葉で子どもとの関わり等を語り、互いを評価せずに話し合う（認め合う）時間が持てたことは、今後の人材育成活動における取り組み姿勢にも役立つものと考えている。次年度は、副園長の配置が減るため、「園長、主任の会（仮）」として継続していきたい。

イ サッカー教室（別紙：写真1）

各園にサッカー担当職員を配置し、担当管理者が子どもの主体性を育む保育の在り方を伝えていくことを目的に、5歳児クラスの子どもの運動機能や神経系の発達を育む活動を行った。対象となった3名の職員は、担当管理者とのやり取りの中で、自身が評価されるという不安感を持たずに、子どもとの関わりや自身の考えについて表出することができるようになってきた。年度後半には、担当管理者がいない中でサッカー教室を実施する等、話したことを活かして活動を行う機会を持った。10月には3園合同のサッカー交流試合を実施している。

5歳児クラスの子供達は、教室や交流試合を通して、友だちの良さを認めたり、上手にできる友だちを見て「自分もできるようになりたい」と挑戦したりする姿がよく見られるようになった。次年度も担当職員を配置し、継続していきたい。

ウ D I Y活動（別紙：写真2）

宇奈根なごやか園にて、担当管理者が外階段上の片開き扉の修繕を実施。これをきっかけに、5歳児クラスの子供が大人の手仕事に関心を持ち、のこぎりで木材を切る活動につながった。職員については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、担当管理者とのD I Y活動を通して、環境整備の大切さやその意味を考えていく機会を持つことがなかなかできなかった。今後は、環境整備がどう保育につながっているかを考える機会を持つ等、各園の実情に応じて職員の環境整備への意識を高めていきたい。

(2) 外部研修

日程	研修名	開催場所	参加者
5/18, 6/15, 7/20, 9/14, 10/14	幼児保育研修（キャリアアップ研修）	オンライン	2名
5/17	新任職員研修「スタートアップ！保育の仕事を 楽しもう！」	オンライン	2名
5/28	東京都の保育行政及び指導検査研修会	オンライン	1名
6月	障害児保育研修（キャリアアップ研修）	オンライン	1名
6/7	人材育成研修『基礎』	オンライン	1名
6/10	保育園における自己評価ガイドライン基礎研修	オンライン	1名
6/18	リスクマネジメント	オンライン	1名
7月	保護者支援・子育て支援（キャリアアップ研修）	オンライン	1名
7月	障害児保育事前研修（キャリアアップ研修）	オンライン	1名
7/8	障害児保育「保育における配慮児支援について」	オンライン	1名
7/30	子どもの人権研修「保育の質ガイドラインの成 り立ちと子どもを尊重した保育の在り方」	オンライン	2名
8/14	保育課保健研修「保健衛生の基礎」	オンライン	1名

8/26, 9/7. 2 9, 10/5. 29	乳児保育研修 (キャリアアップ研修)	オンライン	1	名
8/26	食品衛生管理講習会	動画視聴	1	名
9月	障害児保育事前研修 (キャリアアップ研修)	オンライン	1	名
10/5. 27, 11/24	子どものアレルギー疾患に関する相談実務研修	オンライン	2	名
10/23	保育課保健研修「保健衛生の基礎」	オンライン	2	名
10/16	幼児教育支援プログラム	オンライン	1	名
11/2	子どもたちへの支援、家族への支援	オンライン	1	名
11/10	区内保育施設長合同研修会「これからの時代のリーダー像」	オンライン	2	名
11/14	コロナ禍で考える 子どものからだと心の現実	オンライン	1	名
11/19	保育所等マネジメント研修会～副主任保育士対象～	オンライン	1	名
11/25	子育て支援から子育て支援へ	オンライン	1	名
12/9	保育所児童保育要録研修	オンライン	2	名
12/23	子どもが主役の保育計画	オンライン	1	名
1/11. 12	地域母子保健研修	オンライン	2	名
1/18	年齢別分野別学習会 わらべうた	オンライン	1	名
1/19	年齢別分野別学習会 食育	オンライン	2	名
1/30	全国保育園保健研究大会	オンライン	2	名
2/22	保育所保育実践研修会	オンライン	1	名

(3) 内部研修

日程	研修名	開催場所	参加者	
4/1	新人職員オリエンテーション	鎌田のびやか園本園	2	名
4/1	防災教育(新人職員対象)	鎌田のびやか園本園	2	名
4/7	保育拠点新人研修	子どもの生活研究所	7	名
4/16	新入職員講習	すこやか園本園ゾウ	2	名
4/19	新入職員講習	宇奈根なごやか園	3	名
5/8	リーダー研修	すこやか園本園ゾウ	12	名
4/15	嘔吐処理講習(新人職員対象)	鎌田のびやか園本園	3	名
4/15	防災教育/事故報告書書き方	鎌田のびやか園本園	3	名
5/17-31	熱中症脱水予防	宇奈根なごやか園	30	名
5/25-28	アレルギー勉強会(エピペン)	鎌田のびやか園本園	17	名
6月	救命救急講習	鎌田のびやか園本園・分園	18	名
6月	好事例研修	鎌田のびやか園本園・分園	8	名
6/10	嬉泉のてびき読み合わせ	鎌田のびやか園本園・分園	2	名
6/12	保育拠点新人職員フォローアップ研修	鎌田のびやか園	9	名
7/1-6	手洗い指導手洗いチェッカー	すこやか園分園キリン	10	名
7/10	リーダー研修	すこやか園分園キリン	10	名
7/14-26	救命救急講習	すこやか園分園キリン	10	名
7/16	アレルギー講習	宇奈根なごやか園	30	名
7/6-15	異物除去	すこやか園本園ゾウ	11	名
8/2-6	救命救急講習	宇奈根なごやか園	29	名
8/9	救命救急講習	すこやか園本園ゾウ	3	名
8/26	熱中症脱水予防	すこやか園本園ゾウ	11	名
9/1-7	手洗い講習	すこやか園本園ゾウ	11	名
10/18-29	衛生講習	宇奈根なごやか園	29	名
11/11	けいれん発作対応講習	すこやか園本園ゾウ	11	名
11/22-30	嘔吐処理講習	宇奈根なごやか園	29	名
12/1-3	手洗い指導手洗いチェッカー	すこやか園分園キリン	12	名
12/2-13	手洗い指導手洗いチェッカー	すこやか園本園ゾウ	11	名
12/14-1/12	嘔吐処理講習	すこやか園本園ゾウ	11	名
12/18	好事例発表会	子研/各園にてオンライン	32	名
1/4-18	職員嘔吐処理講習	すこやか園分園キリン	12	名
3/19	全体職員研修	各園にてオンライン		名
3/19	全体新人研修	オンライン	1	名

5 実習生等の受け入れ(3園合計人数)

(1) 見学者(入園希望者)		170名
(2) 夏季アルバイト(学生)		12名
(3) ボランティア(学生)		17名
(4) 職場体験(学生)		3名
(5) 実習生	総数	7名
・東京都市大学		1名
・大妻女子大学		1名
・洗足こども短期大学		2名
・子ども教育宝仙大学		3名

6 健康診断等

生活習慣病予防健診・定期健診の実施状況（3園合計人数）

- ・生活習慣病予防健診 54名
- ・若年層健診 29名
- ・定期健診A 38名 合計121名

7 その他（建物改修、設備・備品等購入等）

（1）すこやか園

- ・全体：パソコン購入
園児用避難車購入
- ・本園：1階保育室床張り替え
2階床暖房水漏れ修理
2階給湯器交換
玄関ドアの張り替え
- ・分園：外灯の修繕

（2）宇奈根なごやか園

- ・5歳児保育室引戸の転倒防止工事
- ・厨房水栓及び配管修繕
- ・パソコン購入
- ・園児用椅子、看護用ベット購入
- ・厨房給湯器交換

（3）鎌田のびやか園

- ・パソコン購入

別紙（事業報告書関係）

年間行事等実施状況

	行事						会議等(外部)		会議等(内部)	
	日	内容(すこやか)	日	内容(なごやか)	日	内容(のびやか)	日	内容	日	内容
4月	1	入園リエンテーション(新入園児.保護者)	1	入園を祝う会(新入園児.保護者)	1	入園の集い(新入園児.保護者)	2	世田谷区園長会→中止	14	保育会議
									22	クローバー会議
									28	副園長・主任会
5月							6	世田谷区園長会→中止	12	保育会議
									20	クローバー会議
									27	副園長・主任会
6月							2	世田谷区園長会→中止	9	保育会議
									16	法人園長会
									23	副園長・主任会
7月	7	七夕(全園児)	7	七夕→各G活動にて実施	7	七夕→各G活動にて実施	1	世田谷区園長会→中止	14	保育会議
			9	全園児健診					28	副園長・主任会
									29	クローバー会議
8月									4	保育会議
									19	クローバー会議
									25	副園長・主任会
9月			3	引継ぎ訓練(全園児対象)			2	世田谷区園長会→中止	8	保育会議
									16	クローバー会議
									22	副園長・主任会
10月		稲刈り(ゾウ5歳児)	2	なごやか広場(4.5歳児.保護者) →G単位、入替制		稲刈り(5歳)		世田谷区園長会	6	保育会議
									21	クローバー会議
									20	法人園長会
									27	副園長・主任会
11月		よろこびたのしみ遊園地 (ゾウ1.2歳児)	17	遠足(4歳児)			2	世田谷区園長会(対面)	11	保育会議
		野川公園(キリン5歳児)	18	遠足(3歳児)					18	クローバー会議
									24	副園長・主任会
12月		クリスマス会(全園児)	3	全園児健診		クリスマス会→各G活動にて実施	6	世田谷区園長会(対面)	15	法人園長会
			10	クリスマス会→各G活動にて実施					22	保育会議、副園長・主任会
									23	クローバー会議
1月		みて!風の子会(キリン3.4.5歳児)					5	世田谷区園長会	20	クローバー会議
									26	保育会議、副園長・主任会
2月	3	節分(全園児)	3	節分→各G活動にて実施	3	節分→各G活動にて実施	1	世田谷区園長会→中止	9	保育会議
									17	クローバー会議
									24	副園長・主任会

3月	5	卒園式(5歳児) キリンお別れ遠足(3.4.5)	3	ひな祭り→各G活動にて実施	3	ひな祭り→各G活動にて実施	2	世田谷区園長会	9	保育会議	
			5	卒園式(5歳児)	5	卒園式(本園)			16	副園長・主任会	
			24	お別れ遠足(5歳児)		進級式(分園)→各G活動にて実施			18	クローバー会議	
						進級式(本園)→各G活動にて実施			30	法人園長会	
備考	※誕生会、身体測定、避難訓練(月1回) ※乳児健診(月2回) ※全園児健診(年2回)						※職員・厨房・離乳食会議(各月1回)				

※世田谷区園長会…例年、8月を除く月1回実施されるが、2021年度は書面での周知が中心となった。対面の場合でも一同に会することはなく、地域単位で分けての開催となった。

※砧地域園長会は、感染拡大防止の観点から参加は任意となった。ZOOM開催中心。

※要保護支援砧地域協議会…例年、年2回実施されるが、2021年度は書面での周知が行われた。

事業拠点組織図(子どもの生活研究所[療育・保育])



